

創作ダンス表現力磨く

南城 知念中でワークショップ

【南城】南城市立知念中学校(垣花英正校長)で12月22〜24日の3日間、コンテンポラリーダンサーを招いてのダンス体験ワークショップが開かれた。同校1年生47人が参加し、創作ダンスに打ち込みながら、創造力やコミュニケーション能力を高めた。文化庁の「文化芸術による子供育成総合事業」コミュニケーション能力向上事業の一環で、委託先のNPO法人ジャパン・コンテンポラリーダンス・ネットワークが公募で決めた学校に優秀なダンサーを派遣し、ワークショップを開いている。

講師は愛媛県松山市を拠点にコンテンポラリーダンスカンパニー「ヤ」に活動するコンテンポラミーダンスの合田緑さん



生徒と一緒にダンスを振り付ける合田緑さん(前列左)と得居幸さん(同右)＝12月24日、知念中学校

と得居幸さんが務めた。2人はまず、生徒らに円をつくってもらい、相手の目やしぐさを見てまねるトレーニングを実践した。その後手拍子を取り入れた振り付けや躍動感のある動きなど、生徒と一緒にダンスを創作。最後は教員らを前にして全員で作り上げたダンスを披露した。

参加した屋比久あゆみさん(13)は「これまでに経験したダンスとは違って面白かった。コロナによって思い出に残るような学校生活を送れなかったのが、とてもいい経験ができた」と笑顔で語った。

合田さんは「生徒たちはみんなしっかりとコミュニケーションが取られていて、豊かな感性を持っている。素晴らしい子たちだった」と絶賛した。